

日本 GP TOKYO Combined Events Meet 2017

競技注意事項

1 競技規則について

本競技会は2017年度日本陸上競技連盟規則ならびに本競技会大会要項により実施する。

2 受付について

- (1) 競技者受付は競技会前日(21日)はBゲート(フィニッシュ後方)付近、競技会当日(22日)は正面スタンド入口脇の競技者インフォメーション(TIC)にて行う。受付の際には、ナンバーカード、プログラムを配付する。
- (2) プログラムに記載ミス(氏名、所属等)があった場合には22日の8時30分までにTICに申し出ること。記録確定以後の訂正(賞状・記録証の訂正を含む)には、一切応じない。なおプログラムの記載事項は、申込の際に送信されたデータをそのまま使用している。

3 練習について

- (1) 駒沢オリンピック公園総合運動場陸上競技場(以下、駒沢競技場)には補助競技場がないため、本競技場内で練習を行うことができる。
- (2) 練習はすべて競技役員の指示に従い、指定された場所・時間の範囲内で行うこと。ただし、競技の運営上、練習を制限することがある。練習中は各々が事故防止に万全を期すこと。
- (3) 大会当日のトラック種目の練習は下記の通りとし、フィールド種目の練習は競技開始30分前から(棒高跳は60分前から)行うことができるが、すべて競技役員の指示に従い、指定された場所・時間の範囲内で行うこと。

種目	練習場所	時間	
男子100m	ホームストレート(3~5レーン)	1日目	8:20~9:00
女子100mH	ホームストレート(7~8レーン)	1日目	8:20~9:10
女子200m	200mスタート地点(各レーン)	1日目	*16:10頃~16:30
男子110mH	ホームストレート(7~8レーン)	2日目	8:20~9:00

*女子200mについては、中学女子200mの競技終了次第

- (4) 周回レースが行われていない時間帯は、バックストレートを開放する。
- (5) 走高跳と棒高跳の練習では、全てゴムバーを使用する。
- (6) 大会前日の練習は、駒沢競技場において13:30~16:30に行うことができる。ただし、棒高跳と投てき種目の練習は行うことはできない。練習の際は、競技役員の指示に従い行うこと。

4 招集について

- (1) 招集所は100mスタート地点脇のダッグアウト内に設ける。
- (2) 招集は1日目、2日目の最初の競技種目のみ招集所で行う。招集時刻は競技開始時刻の30分前に開始し、20分前に完了とする。ただし、七種競技2日目の走幅跳は40分前に開始し、30分前に完了とする。なお、以後の種目は各競技場所での招集を行うので、競技者は混成競技者控室に待機し、混成競技係の指示を受けること。

- (3) 混成競技者控室は 男子：3 A・3 B号室、女子：2 A・2 B号室に設置する。混成競技者控室への付添、コーチ等の出入りは認めない。
- (4) 代理人による点呼は認めない。
- (5) 招集完了時刻に遅れた場合は、当該種目を棄権したものとして処理する。
- (6) 招集の際には、ナンバーカード、商標のチェックを行う。
- (7) 競技者はビデオ装置、レコーダー、ラジオ、CDプレーヤー、トランシーバーや携帯電話もしくは類似の機器を競技エリア内に持ち込んで서는ならない。
- (8) 2種目以降から欠場する場合は、混成競技係に申し出ること。

5 ナンバーカードについて

- (1) ナンバーカードは主催者が3枚配付する。
- (2) ナンバーカードはそのままの大きさで胸と背部に確実に固定すること（跳躍競技については胸または背部のどちらかでもよい）。なお、氏名のついたナンバーカードは胸につけること。
- (3) トラック競技に出場する競技者は、腰ナンバー標識（2枚）をパンツ両側の上部、やや後ろにつけること。なお腰ナンバー標識は競技終了の都度、競技役員に返却すること。

6 競技について

- (1) トラック競技の計時はすべて電気計時（0.01秒）を用いて行う。
- (2) トラック競技の各種目で、不正スタート1回目は失格としないが、その後不正スタートをした競技者はすべて失格とする。
- (3) 最終種目の競技開始前に、それまでの記録上位順に別ナンバーカードを胸につける。
- (4) フィールド競技における競技場内での練習は、すべて競技役員の指示に従うこと。
- (5) 走高跳、棒高跳のバーの上げ方は次の通りとする。ただし、天候等の状況により変更することもある。

		練習	1	2	3	4	5	6	7	以後
走高跳	男子	任意の高さ	1m65	1m70	1m75	1m80	1m85	1m90	1m93	3cm 刻み
	女子	任意の高さ	1m40	1m45	1m50	1m55	1m58	1m61	1m64	3cm 刻み
棒高跳	男子	任意の高さ	3m00	3m20	3m40	3m60	3m80	4m00	4m10	10cm 刻み

*練習の高さは競技場所にて2～3段階提示され、競技者はその中から選択する。

- (6) 走高跳、棒高跳は2ピットで行うが、1日目・2日目の第1種目終了時点までに、最初に跳ぶ高さを混成競技係に申告すること。その申告に基づいて組分けを行い、試技順序を決める。

7 競技場への入退場について

- (1) 競技場内への入退場はすべて競技役員の指示・誘導に従うこと。
- (2) トラック競技ではフィニッシュ後、フィニッシュライン脇の建物出入口からスパイクを脱いで、スタンド下の廊下を通過して控室に戻る。

8 助力について

- (1) 競技者が競技場所を離れる場合は、競技役員に申し出なければならない。
- (2) 競技中の応援・助言（指導）は競技場内のスタンドからのみとし、競技場内のスタンド下ダッグアウトからの助言（指導）は禁止する。スタンドのコーチングボックスから助言（指導）すること。

- (3) フィールド種目に出場している選手に対して競技エリア外（スタンド）にいる者が録画した映像を見せることは助力にはならないが、競技エリア外（スタンド）から見せることに限定され、録画した機材（ビデオ装置・携帯電話等）を競技エリアにいる競技者が手に持った場合は助力とみなす。

9 抗議について

競技会進行中に起きた競技者の行為、または順位に関する抗議は、正式結果が電光掲示板に正式発表されてから30分以内に、競技者自身または代理人がTICに口頭で申し出る。審判長が再度検証し、本部担当総務員を通じて裁定を伝える。この裁定に不服がある場合は、「上訴申立書」に記入のうえ、預託金（1万円）を添え、TICに申し出ること。

10 用器具について

- (1) 競技で使用する用器具は「やり」「円盤」「棒高跳用ポール」を除き、すべて主催者が準備したものを使用しなければならない。なお、競技場備付の投てき物については、「投てき物一覧表」を参照のこと。
- (2) 「やり」「円盤」の持込を希望する競技者は、競技開始90分前までに、大会本部の公式計測員に「投てき用具検査申請書」と共に提出すること。受け付けた「やり」「円盤」については「預り証」を発行する。検査に合格した「やり」「円盤」については、一括借り上げをし、参加競技者で共有できるものとする。受け付けた「やり」「円盤」は、競技終了後に「預り証」と引き換えに大会本部で返却する。
- (3) 送付された棒高跳用ポールはBゲート側用器具庫に保管されている。また、棒高跳用ポールの返送（有料）を希望する競技者は、競技終了後、ポールをBゲート側用器具庫に返却する際、用器具庫前の担当競技役員に申し出ること。

11 競技用靴について

スパイクピンの長さは、9mm以内とし、走高跳・やり投は12mm以内とする。いずれの場合もスパイクピンの数は11本以内とする。

12 表彰について

- (1) 日本グランプリは第1位～第3位を表彰する。
- (2) 東京選手権 東京陸協登録者の第1位に選手権章と賞状、第2位～第3位にメダルと賞状、第4位～第8位に賞状を授与する。
- (3) 入賞した選手は、競技終了後、速やかに表彰台前に集合すること。

13 商品名のついた衣類やバッグ類等について

競技場に商品名のついた衣類やバッグ類等を持ち込む場合、「競技会における広告および展示物に関する規程」を遵守すること。競技役員から指摘・指導された場合は、その指示に従い、必ずテープ等を貼って隠すこと。

14 ドーピングコントロール

- (1) 国際陸上競技連盟アンチ・ドーピング規則および規定、もしくは日本アンチ・ドーピング規程に基づいて行われる。本競技会の前もしくは後のドーピング検査では、尿 又は血液（あるいは両方）の採取が行われる。該当者は指示に従って検査を受けること。競技会時、ドーピング検査の対象となった場合、顔写真付きの身分証明書が必要となる。顔写真のついた学生証、社員証、運転免許証、顔写真が鮮明なパスポートコピーなどを持参すること。

- (2) TUE申請禁止表国際基準で定められる禁止物質・禁止方法を病気の治療目的で使わざるを得ない競技者は“治療使用特例(TUE)”の申請を行わなければならない。詳細については、日本陸上競技連盟医事委員会のホームページ(<http://www.jaaf.or.jp/medical/index.html>)、又は日本アンチ・ドーピング機構ホームページ(<http://www.playtruejapan.org/>)を確認すること。
- (3) 未成年(20歳未満)競技者が競技会に参加する際、親権者からドーピング検査に関する同意書を取得する事が必要となる。本大会に参加する未成年者は、同意書を熟読し、署名、捺印の上、同意書の原本を持参し、携帯すること。同意書は<http://www.jaaf.or.jp/pdf/doisho.pdf>からダウンロードできる。
- (4) 未成年競技者はドーピング検査に指名された時に、原本をドーピング検査室にてNFR(大会医事代表)に提出すること。提出は未成年時に1回のみで、同意書の提出後に再びドーピング検査に指名された場合は、すでに原本を提出済みである事をNFRに申し出ること。なお、原本が提出済みではなく、会場において原本の提出がない場合でも検査は行われるが、その場合、検査後7日以内に日本陸連事務局に原本を提出すること。

1.5 第101回日本陸上競技選手権大会参加資格について

- (1) 東京陸上競技協会登録競技者のうち、本競技会の東京選手権種目において優勝もしくは第2位、第3位に入賞した者のうち、所定の期間内に指定の参加標準記録Bを突破している者は、2017年度に実施される第101回日本陸上競技選手権に出場することができる。
- (2) 詳細については、日本陸上競技連盟ホームページ大会情報(<http://www.jaaf.or.jp/fan/taikai/>)の日本陸上競技選手権大会要項を参照のこと。

1.6 その他

- (1) 2017年度の日本陸上競技連盟競技規則修正点について特に注意すること。
- (2) 競技中の事故については主催者で応急処置をするが、以後の責任は負わない。
- (3) 主催者で預かった物品については一時保管するが、その他の盗難および紛失に関しては一切責任を負わない。
- (4) 更衣室は男子：1A、女子：1Bとする。盗難などの防止のため、更衣室は更衣のみに使用し、荷物は置かず各自が責任持って管理すること。
- (5) 記録はその都度、アナウンスおよび電光掲示板に発表するが、招集所の掲示板にも掲示する。
- (6) 届けられた遺失物については、TICで保管する。保管期間は4月23日競技会終了時までとする。
- (7) 記録証は1部300円で発行する。希望者はTICまで申し出ること。
- (8) トレーナールームは1階中央玄関付近に設置する。



当大会の記録結果携帯速報サイトをご利用ください。

競技終了後に、次のサイトにアクセスすれば、ご覧になれます。

<http://gold.jaic.org/jaic/member/tokyo/top.htm>

QRコードもご利用ください。

駒沢オリンピック公園総合運動場陸上競技場投てき物一覧表

2017. 3. 3現在

用具		種別	メーカー	品名等	規格等	数量	合計	
砲丸	男子	一般 (7.260kg)	NISHI	鉄製	φ 129mm	6	13	
					φ 125.5mm	4		
					φ 120mm	2		
			ベルグ	鉄製	φ 120mm	1		
				真ちゆう	φ 110mm	1		
	女子	高校・U20 (6.000kg)	NISHI	鉄製	φ 120mm	3	9	
					φ 117mm	6		
		中学・U18(5.000kg)	NISHI	鉄製	φ 110mm	13	13	
	女子	一般 (4.000kg)	NISHI	鉄製	φ 109mm	4	13	
					φ 108mm	1		
φ 103mm					7			
			真ちゆう	φ 94mm	1			
	中学(2.721kg)	NISHI	鉄製	φ 90.5mm	12	12		
円盤	男子	一般 (2.000kg)	NISHI	SUPER	φ 220.5mm	3	10	
				HIGH MOMENT	φ 220.5mm	1		
				スーパー(黒)	φ 220.5mm	6		
	女子	高校・U20 (1.750kg)	NISHI		SUPER	φ 210.5mm	6(修理要1)	8
					スーパー(黒)	φ 210.5mm	2	
		U18(1.500kg)	NISHI		SUPER	φ 210.5mm	10	10
	女子	一般・高校・ U20・U18 (1.000kg)	NISHI		SUPER	φ 181.5mm	5	15
					HIGH MOMENT	φ 181.5mm	3	
スーパー(黒)					φ 181.5mm	6		
スーパー(紫)					φ 181.5mm	1		
ハンマー	男子	一般 (7.260kg)	NISHI	ダクタイル	φ 116.5mm	4	9	
				タングステン入り	φ 110mm	5		
		高校・U20(6.000kg)	NISHI		鉄製	φ 116mm	12	12
	女子	一般・高校・U20 (4.000kg)	NISHI		鉄製	φ 102mm	1	8
			ダグタイル	φ 95mm	7			
やり	男子	一般・高校・U20 (800g)	NEMETH	FLYING HISTORY 80	80m	1	21	
				M. NEMETH	80m	1		
			NORDIC	CHAMPION	/	1		
				SUPER ELITE 90	90m	1		
			アポロ	Laser	100m	1		
				OLYMPIC GOLD	/	1		
			NISHI	HYBRID WING	/	1(グリップ修理要)		
				SUPER	80-90m	1		
				Super	80m(F453C)	4		
				Long	70m(F454C)	1		
				LONG	60-70m(F454)	1		
				LONG	60-70m	3		
				Medium	60m(F455C)	1		
				MEDIUM	(赤、シルバー)	2		
	MEDIUM	50-60m	1					
	女子	一般・高校・U20 (600g)	NORDIC	DIANA 80	80m	2	20	
				DIANA 70	70m	1		
				DIANA 60	60m	1		
				STAR	/	1		
			NEMETH	M. NEMETH	75m	1		
			アポロ	OLYMPIC GOLD	85m	1		
			NISHI	HYBRID WING	/	1		
				SUPER	/	1		
SUPER. DR				55-65m(F463C)	5			
LONG. DR	45-55m(F464C)	5						
	MEDIUM. DR	30-45m(F465C)	1					